

東北女子大学

米澤 暢子

1. 目的 津軽地方の一部にしか知られていなかった伝統的なこぎん刺しが、手工芸的刺繍として関心が高まっている。しかし、こぎん刺しに対する意識調査がなされていないので、今回青森県内の女子を対象に、こぎん刺しの感覚度を調査した。

2. 方法、青森県内在住の女子1000名を対象に質問紙法により、昭和55年1月～5月にかけて調査した。さらに、こぎん刺しの知識と興味、所持品等について、年代、地域別に検討した。

3. 結果

- (1) こぎん刺しの知識度については、県内ほとんど知られていた。
 - (2) こぎん刺しの好きな理由として、素朴な美しさ・古風な感じ等があげられた。
 - (3) 所持作品として、サイフ、バック、センター等があげられた。
 - (4) 図案の形成としては全体に大きい刺し柄の模様が女のまれている。
- こぎん刺しは年代にかかわらず、素朴な美しさに興味を持っていることがわかった。